

神戸市外国語大学・魅力発信事業「平和構築と教育」第3弾

永遠瑠・マリルイズさん特別講演会

ルワンダの悲劇から学んだ命の尊さ ～平和と教育の大切さ～



ジェノサイドを経験し難民となり、教育によって平和を願うルイズさんは、講演でよくこう語りかけます。
「生きていれば、また立ち上がることができます。
生きていれば、学んだことはいつでも助けてくれます。
ともに生きようと願えば、安心して生きていくことができます」

永遠瑠・マリルイズさんのプロフィール

1994年ルワンダのジェノサイドに遭遇。幼い子ども3人を抱えてコンゴの難民キャンプにたどり着き、偶然AMDAの日本人医師と出会い通訳をつとめる。2000年に、教育を通じて平和を実現するために「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリに学校を創設する。命の尊さ、教育の大切さを訴える活動で全国を駆け回っている。在住する福島において東日本大震災で被災、原発事故を経験。仮設住宅でのボランティア活動も行っている。

2019年1月23日(水) 午後5時30分開場 午後6時開演

○講演終了：午後7時30分 ※終了後、学生と意見交換をします。

○会場：神戸市外国語大学 501号教室 ※申し込み不要 講演は日本語です。

神戸市営地下鉄「学園都市」駅 下車徒歩約10分

(主催・問い合わせ) 杉山精一(教職担当) seiichi@inst.kobe-cufs.ac.jp

本講演会は、今年度の「神戸市外国語大学・魅力発信支援事業」第3弾です。